

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（統計情報総合研究））

分担研究報告書

統計を用いた大災害による影響の分析（母子分野）

—震災が出生性比、周産期予後に与えた影響の、阪神淡路大震災と東日本大震災での比較—

研究分担者 山縣 然太朗 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座教授

研究協力者 鈴木 孝太 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座准教授

研究要旨 大災害が周産期予後に与える影響について、男児の割合が低下する、あるいは特に女児において早産が増加することなどが、これまでの研究で示唆されている。昨年度われわれは、妊娠初期で東日本大震災に被災した妊婦は、その1年前に妊娠初期であった妊婦に比べ、被災三県（岩手県、宮城県、福島県）において出生した男児の割合が有意に低下することを、人口動態調査出生票を用いて明らかにした。本研究では、同様の方法を用いて、阪神淡路大震災と東日本大震災が出生性比、周産期予後（出生体重、妊娠期間）に与える影響を、特に単胎児において検討したところ、阪神淡路大震災においては、出生性比に大きな影響は認められず、周産期予後については、地域に関係なく出生体重が減少し妊娠期間が延長していた。東日本大震災については、単胎児のみでも、昨年度と同様、妊娠初期に被災三県で被災した妊婦について男児の出生割合が有意に低下していた。

A. 研究目的

これまでの研究において、地震などの大災害が、周産期予後に与える影響はこれまでも様々なケースで検討されている。チリ大地震では、妊娠初期に被災した場合に早産となる可能性が、特に女児で大きかったと報告されている（Torche F et al. 2012）。昨年度われわれは、人口動態調査出生票を用いて、妊娠初期で2011年3月11日に発生した東日本大震災に被災した妊婦は、その1年前に妊娠初期であった妊婦に比べ、被災三県（岩手県、宮城県、福島県）において出生した男児の割合が有意に低下することを、人口動態調査出生票を用いて明らかにした。一方、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、地震後半年程度経過した時点で男女比が低下し、その原因として女児の早産が増加したことなどが示唆されている（Fukuda M et al. 1998）。しかしながら、個人レベルのデータを用いて、阪神淡路大震災の影響を検討した研究はない。

そこで、本研究では、1994年1月から1996

年1月までと、2010年3月から2012年3月までの人口動態調査出生票を用いて、全出生データから、震災前後各1年の出生性比、低出生体重児、早産児の割合の変化を記述することと、各震災時点で妊娠していた女性のうち、妊娠4週から36週までの女性を対象とし、特に単胎児について、妊娠時期ごとに、阪神淡路大震災と東日本大震災が、出生性比、妊婦の周産期予後（低出生体重児、早産）に与えた影響を検討することを目的とした。

B. 研究方法

1. 基礎資料

基礎資料として、統計法第33条による人口動態統計の調査票情報の提供を受けた。調査票情報から、1994年1月1日～1996年1月31日、2010年3月1日～2012年3月31日の出生情報を利用した。出生情報としては、住所地（都道府県、市町村）、児の性別、児の生年月日、父の生年月日、母の生年月日、父国籍、母国籍、出生体重、双胎かどうか、在胎期間、出生順位

を利用した。なお、1994 年の人口動態調査出生票では在胎期間が週数しか記載されていないため、在胎日数を、在胎週数×7+3 日で計算した。

2. 解析方法

解析においては、被災地域を以下のように定義した。

◆重大な被災地域：死者・行方不明者数が 100 人以上

阪神淡路大震災では兵庫県、東日本大震災では岩手県、宮城県、福島県。

◆中程度の被災地域：死者が 1 人以上、または負傷者が 10 人以上

阪神淡路大震災では大阪府、京都府、徳島県、奈良県、東日本大震災では北海道、青森県、秋田県、山形県、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県。

◆それ以外の地域

①地震の前後各 1 年における被災地域ごとの男女比、周産期予後の検討

1994 年 1 月から 1996 年 1 月までと、2010 年 3 月から 2012 年 3 月までに出生した児を対象に、月ごとの男女比、低出生体重児の割合、早産児の割合を、それぞれの地域について記述した。

②震災時の妊娠時期の違いによる、男女比、周産期予後に与える影響の検討（1 年前の妊婦との比較）

各震災時点で妊娠していた女性のうち、妊娠 37 週未満の人を対象とし、その時点での妊娠週数を 4~11 週、12~19 週、20~27 週、28~36 週と分類した。また、季節による周産期予後の違いなどを調整するために、それぞれの地震発生時点の 1 年前に妊娠していた女性を対象とし、その時点での妊娠週数を上記と同様に分類し、対照群とした。それぞれのカテゴリーの妊婦について、震災を経験した群と対照群で、男女比、初経産の割合、母親の年齢、児の出生体重、低出生体重児の割合、在胎日数、早産の割合について、連続変数については t 検定、カテゴリー変数については χ² 乗検定を用いて比

較した。

さらに、在胎日数、出生体重については、重回帰分析により出生体重については在胎日数、初経産、母親の年齢、在胎日数については、初経産、母親の年齢について調整し、震災を経験したことの影響について検討するとともに、重回帰モデルをもとに最小に情報を用いて、推定出生体重、在胎日数を算出した。

なお、この検討はそれぞれの地域ごと、また周産期予後についての検討は男女別に行った。解析には SAS9.3 を用いた。

（倫理面への配慮）

本研究では、既存の統計資料（個人情報を含まず）のみを用いるため、個人情報保護に関する問題は生じない。

C. 研究結果

①地震の前後各 1 年における被災地域ごとの男女比、周産期予後の検討（図 1、図 2、図 3）

阪神大震災については、1994 年 1 月から 1996 年 1 月に出生した 2,546,478 人（男児：1,306,948 人、女児：1,239,530 人）が対象となった。重大な被災地域は 112,765 人（男児：58,100 人、女児：54,665 人）、中程度の被災地域は 278,913 人（男児：143,194 人、女児 135,719 人）、それ以外の地域は 2,154,800 人（男児：1,105,654 人、女児：1,049,146 人）であった。

また、東日本大震災については、2010 年 3 月から、2012 年 3 月の間に出生した 2,229,406 人（男児：1,143,609 人、女児：1,085,797 人）が対象となった。重大な被災地域で出生したのは 90,583 人（男児 46,329 人、女児 44,254 人）、中程度の被災地域は 872,105 人（男児：447,587 人、女児：424,518 人）、それ以外の地域は 1,266,718 人（男児：649,693 人、女児：617,025 人）であった。

どちらの地震前後でも、出生性比、低出生体重児、早産児の割合に明らかな傾向を認めなかつた。

②震災時の妊娠時期の違いによる、男女比、周

産期予後に与える影響の検討（1年前の妊婦との比較）（表1～6）

東日本大震災が発生した2011年3月11日に妊娠していたと考えられ、その時点での妊娠4週から37週未満に該当した妊婦から出生したのは679,131人（男児：348,312人、女児：330,819人）であり、そのうち単胎児は667,139人（男児：342,344人、女児：324,795人）、1年前の2010年3月11日に妊娠していたと考えられる同様の妊婦から出生したのは688,479人（男児：354,281人、女児：334,198人）、単胎児は676,124人（男児：348,040人、女児：328,084人）であった。

阪神淡路大震災が発生した1995年1月17日に妊娠していたと考えられ、その時点での妊娠4週から37週未満に該当した妊婦から出生したのは758,476人（男児：389,045人、女児：369,431人）であり、そのうち単胎児は745,858人（男児：382,811人、女児：363,047人）、1年前の1994年1月17日に妊娠していたと考えられる同様の妊婦から出生したのは791,548人（男児：406,323人、女児：385,225人）、単胎児は778,794人（男児：399,981人、女児：378,813人）であった。

東日本大震災の前後では、母親の年齢がやや高齢化し、第1子の割合が減少し、平均出生順位が上昇したが、地域による大きな傾向は認めなかつた。出生性比に関しては、重大な被災地域と、それ以外の地域で有意に男児の出生割合が低下した。重回帰分析の結果、妊娠後期に重大な被災地で地震を経験した男児の出生体重が有意に減少したが、それ以外に予後が有意に悪化したものは認めなかつた。

阪神淡路大震災の前後では、どの地域でも出生体重が有意に減少し、在胎期間が有意に増加していた。また、母親の年齢もやや高齢化していたが、地域ごとの差を認めなかつた。重回帰分析の結果も、単変量解析の結果と同様、全ての群で出生体重が有意に減少し（30g程度）、在胎期間が有意に増加していた。

D. 考察

人口動態統計の出生票情報を用いることにより、阪神淡路大震災、東日本大震災を経験することが、出生性比、また、単胎児の周産期予後に与える影響を検討した。

その結果、震災前後の各月における出生児における男児の割合、早産率、低出生体重児の割合については、どちらの震災でも、地域によって大きな傾向を認めなかつた。

東日本大震災発生時に妊娠初期であった妊婦は、重大な被災地およびその他の地域において出生した男児の割合が一年前に妊娠初期だった妊婦に比べて有意に低くなっていた。その差は重大な被災地で大きく、妊娠初期に被災した場合、被害の大きかった地域では、出生性比が変化する可能性を示唆した。しかしながら、その他の周産期予後については有意な差を認めなかつたことから、震災による大きな影響はなかつたと考えられた。これらの結果は、出生全体を検討した場合と、単胎児のみに限定して検討した場合で同じ傾向であった。

一方、阪神淡路大震災においては、どの地域においても出生性比に有意な差を認めなかつた。過去の報告は集計データを用いたものであることから、結果に差異が生じたものと考えられた。また、周産期予後に関しては、地域に関係なく出生体重が減少し、妊娠期間が延長していることが明らかになった。1990年代から2000年代は、低出生体重児の割合が1990年に6.3%から2005年に9.5%と増加した時期であり、それ以降はあまり大きな変化を見せていない。そのため、震災の影響が存在したとしても、それを上回る全国的な傾向が存在した可能性が高く、今回的方法では、震災の周産期予後に与える影響を評価することが困難だったと考えられた。

東日本大震災前後においては、出生体重や在胎期間の大きな変化を認めなかつたために、震災前1年間のデータをコントロールと使用することにより、ある程度震災の影響を評価することができたと考えられる。しかし、阪神淡路大震災前後のように、周産期予後の変化が大きい

時期における災害の影響を検討する場合、季節性を考慮したうえでどのように統計資料を活用していくのかという新たな課題が生じたと考えられた。

3. その他 なし。

E. 結論

阪神淡路大震災、東日本大震災が出生性比、単胎児の周産期予後に及ぼす影響を検討したところ、東日本大震災については、重大な被災地で出生した児について、母親が妊娠初期に被災した場合に、男児の割合が有意に小さくなるものの、その他の周産期予後に有意な影響を及ぼした可能性は低いことが示唆された。阪神淡路大震災については、出生性比に与える影響は小さく、また、周産期予後についても大きな影響がないと考えられたが、出生体重などの変化が大きい時期であり、震災の影響について正しい評価を実施することが困難だと考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし。
2. 学会発表
 - 1) Suzuki K, Yamagata Z, Kawado M, Hashimoto S. Effects of the Great East Japan Earthquake on perinatal outcomes. 20th IEA World Congress of Epidemiology; Anchorage, USA. 2014.
 - 2) Suzuki K, Yamagata Y, Kawado M, Hashimoto S. Effects of the Great East Japan Earthquake on childhood growth and prevalence of allergic diseases. 日本疫学会, 2015.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。

図1：それぞれの地域で比較した、月別に見た震災前後の男児の割合（上段：阪神淡路大震災、下段：東日本大震災）

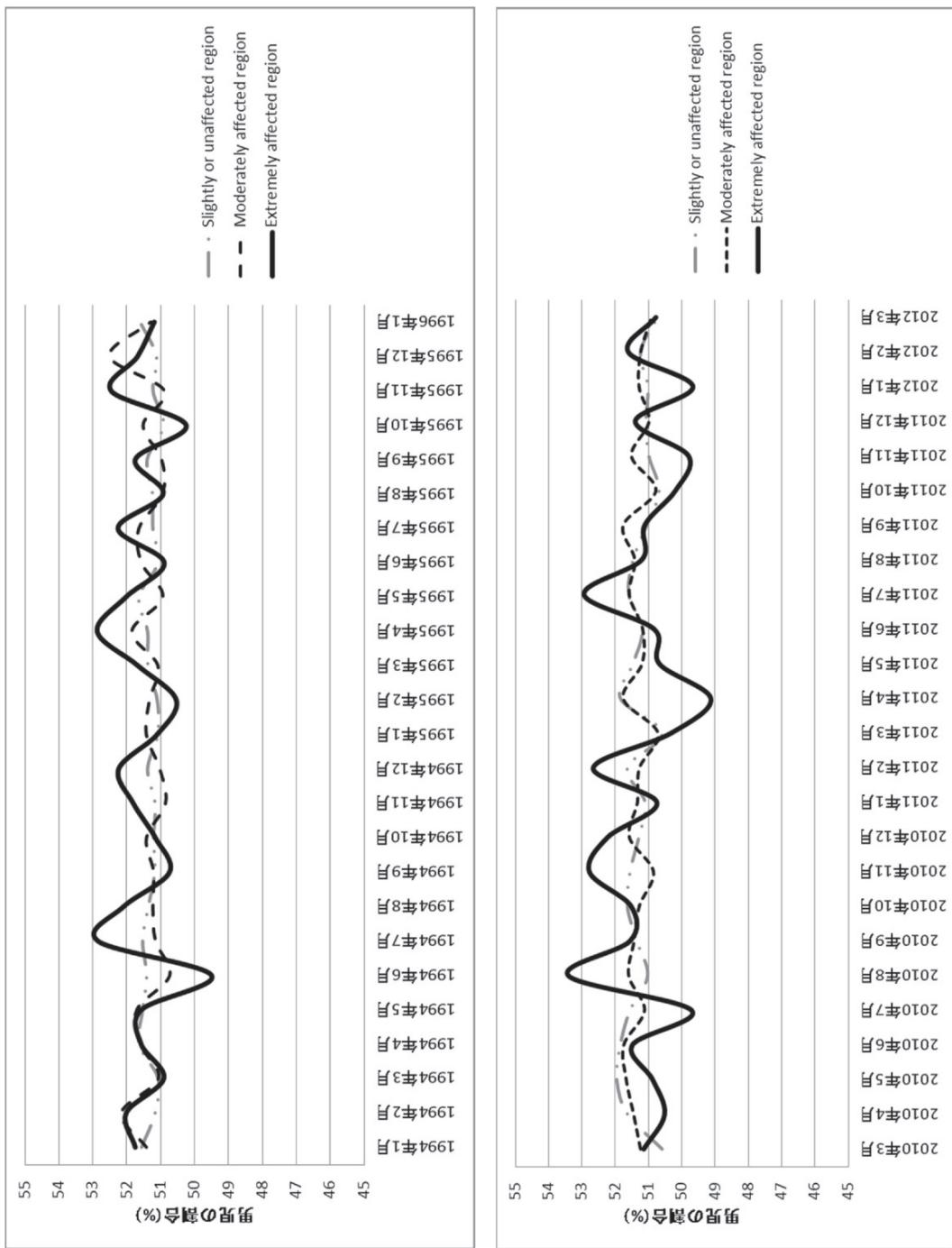


図2：それぞれの地域で比較した、月別に見た震災前後の低出生体重児の割合（上段：阪神淡路大震災、下段：東日本大震災）

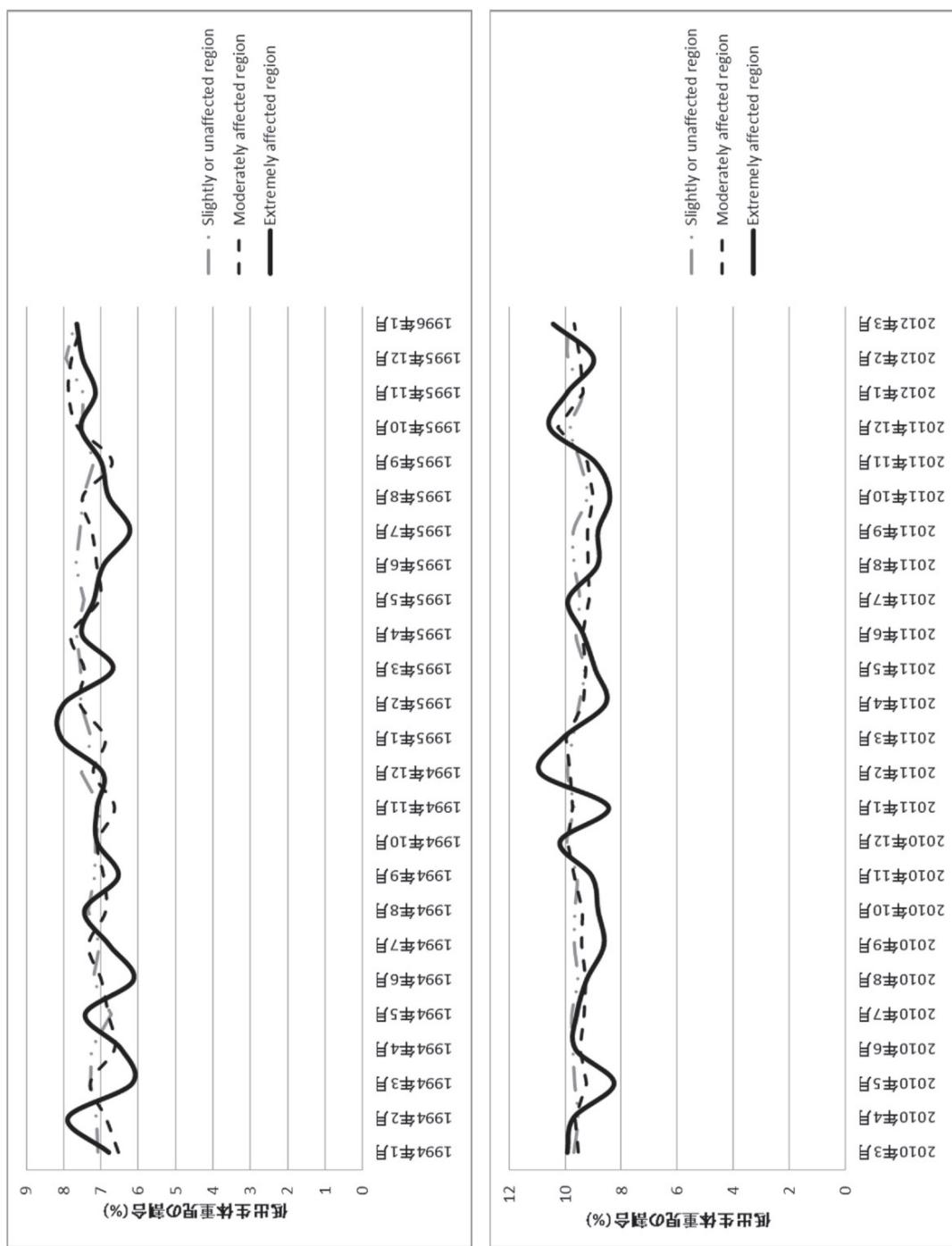


図3：それぞれの地域で比較した、月別に見た震災前後の早産児の割合（上段：阪神淡路大震災、下段：東日本大震災）

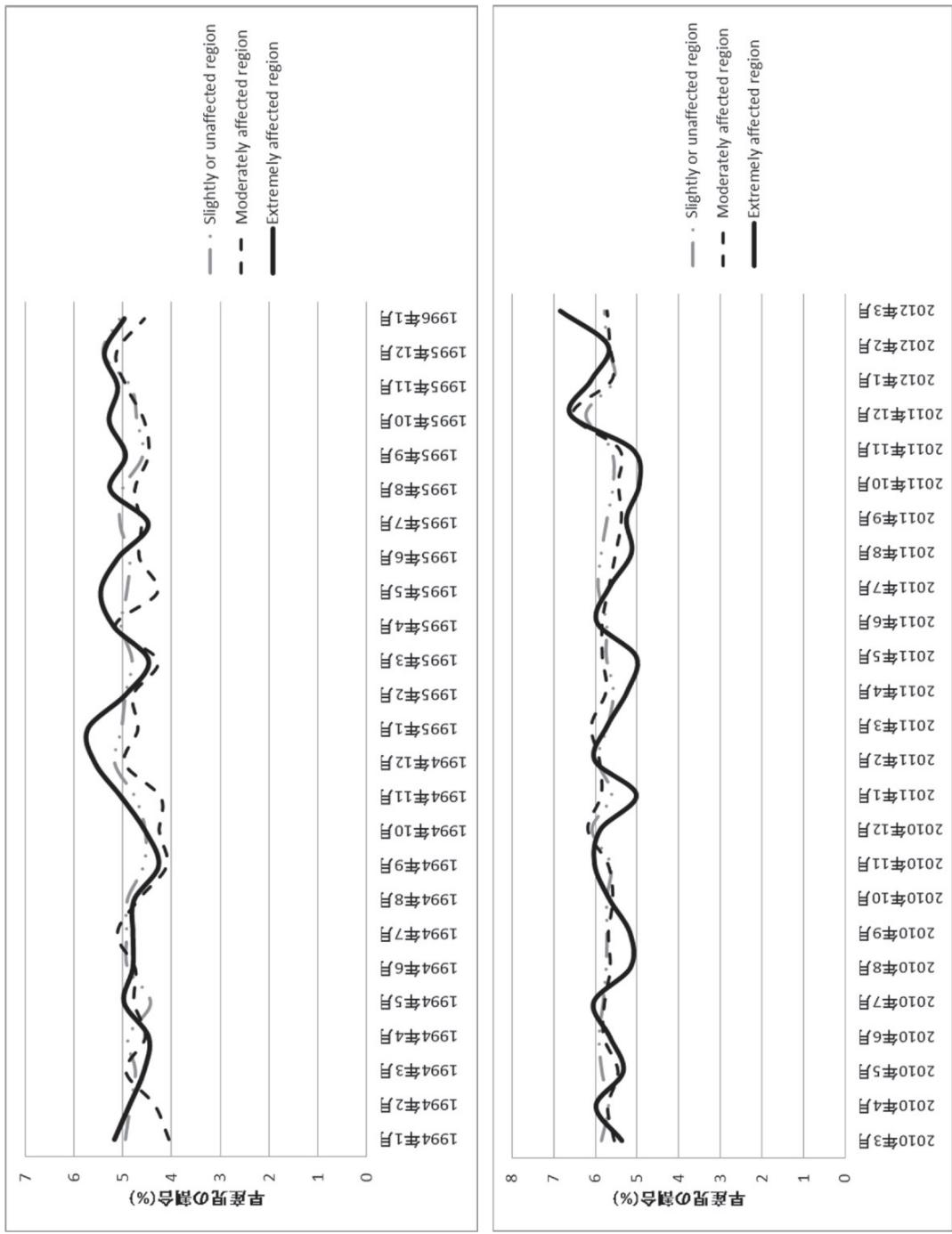


表1. 東日本大震災当時に妊娠4週から36週だった妊娠における、被災状況により分類した地域における特徴およびその児の、1年前の同時期との比較(男女別)

	Extremely affected region						Moderately affected region						Slightly or unaffected region					
	Male		Female		P*		Male		Female		P*		Male		Female		P*	
	2010	2011	2010	2011	P*	2010	2011	P*	2010	2011	P*	2010	2011	P*	2010	2011	P*	
Total	14837	14059	13980	13675		139136	136717		131766	129412		200308	197536		188452	187782		
(%)	51.5	50.8	48.5	49.2		51.4	51.4		48.6	48.6		51.5	51.3		48.5	48.7		
Singleton	14583	13817	13763	13389		136735	134515		129389	127162		196722	194012		184932	184244		
(%)	98.3%	98.3%	98.4%	98.3%		98.3%	98.4%		98.2%	98.3%		98.2%	98.2%		98.1%	98.1%		
Mean gestational duration (day)	274.9	274.8	0.6	275.8	0.14	274.2	274.2	0.9	275.4	275.3	0.047	274.5	274.4	0.006	275.6	275.6	0.9	
SD	10.8	10.7	10.8	10.8		10.8	10.8		10.5	10.5		10.8	10.9		10.6	10.5		
(n)	14583	13817	13763	13389		136735	134515		129389	127162		196722	194012					
Preterm birth (%)	705	625	0.2	524	513	0.9	6748	6664	0.8	4961	4961	0.7	9716	9814	0.09	7245	7003	0.07
(n)	14583	13817	13763	13389		136735	134515		129389	127162		196722	194012		184932	184244		
Mean birth weight (g)	3071.9	3077.2	0.3	2984.4	2986.5	0.7	3062.9	3067	0.01	2978.4	2978.2	0.9	3063.9	3067.1	0.02	2976.7	2982.1	<0.0001
SD	414.3	410.3	401.5	403.2		414.1	414.2		397.7	397.1		416.6	419.3		401.3	401.0		
(n)	14582	13817	13762	13389		136729	134505		129380	127156		196703	193998		184921	184230		
Low birth weight infants (%)	977	874	0.2	1201	1183	0.8	9532	9214	0.2	11653	11331	0.4	13922	13716	0.9	17165	16679	0.007
(n)	14582	13817	13762	13389		136729	134505		129380	127156		196703	193998		184921	184230		
Mean maternal age at birth	29.9	30.1	0.02	29.9	30.2	<0.0001	31.1	31.2	<0.0001	31.1	31.2	<0.0001	30.4	30.5	<0.0001	30.4	30.5	<0.0001
SD	5.0	5.1	5.1	5.1		5.0	5.0		5.0	5.0		5.0	5.0		5.0	5.0		
(n)	14583	13817	13763	13389		136735	134515		129389	127162		196722	194012		184932	184244		
Mean birth order	1.78	1.80	0.07	1.77	1.81	0.0004	1.68	1.69	0.02	1.67	1.68	0.045	1.76	1.77	0.0002	1.76	1.78	<0.0001
SD	0.88	0.90	0.88	0.89		0.83	0.82		0.82	0.82		0.87	0.88		0.88	0.89		
(n)	14583	13817	13763	13389		136735	134515		129389	127162		196722	194012		184932	184244		
The 1st babies (%)	6516	6111	0.4	6299	5823	0.0002	68410	66566	0.005	65077	63220	0.003	90918	88579	0.0004	85014	83345	<0.0001
(n)	14583	13817	13763	13389		136735	134515		129389	127162		196722	194012		184932	184244		

* P values were calculated by Chi-square test (categorical variables) and Student's t-test (continuous variables)

表2. 阪神淡路大震災当時に妊娠4週から36週だった妊婦における、被災状況により分類した地域における特徴およびその児の、1年前の同時期との比較(男女別)

	Extremely affected region						Moderately affected region						Slightly or unaffected region					
	Male		Female		P*		Male		Female		P*		Male		Female		P*	
	1994	1995	1994	1995	P*	1994	1995	P*	1994	1995	P*	1994	1995	P*	1994	1995	P*	
Total	18261	17183	17238	16121		43980	42645		41768	40542		344082	329217		326219	312768		
(%)	51.441	51.594	48.559	48.406		51.29	51.264		48.71	48.736		51.332	51.281		48.668	48.719		
Singleton	17977	16907	16975	15792		43338	41983		41094	39887		338666	323921		320744	307368		
(%)	98.4%	98.4%	98.5%	98.0%		98.5%	98.4%		98.4%	98.4%		98.4%	98.4%		98.3%	98.3%		
Mean gestational duration (day)	275.5	276.6	<0.0001	276.7	277.9	<0.0001	275.8	277	<0.0001	277	278.2	<0.0001	275.7	276.8	<0.0001	277	278	<0.0001
SD	10.7	10.9		10.3	10.7		10.8	10.9		10.4	10.7		10.8	11.0		10.3	10.7	
(n)	17977	13817		16975	15792		43338	41983		41094	127162		338666	323921		320744	307368	
Preterm birth (%)	778	765	0.4	582	572	0.3	1856	1786	0.8	1411	1376	0.9	14845	14616	0.01	10585	10675	0.0002
(n)	4.3	4.5		3.4	3.6		4.3	4.3		3.4	3.4		4.4	4.5		3.3	3.5	
Mean birth weight (g)	3142	3131	0.01	3064.8	3049.8	0.001	3134.2	3125.1	0.002	3055.3	3041.5	<0.0001	3138.6	3125.5	<0.0001	3056.4	3043.8	<0.0001
SD	416.8	416.1		404.5	404.8		420.0	417.1		403.4	403.8		421.5	421.0		405.2	406.1	
(n)	17975	16905		16974	15790		43334	41971		41088	39878		338637	323889		320727	307344	
Low birth weight infants (%)	923	867	0.98	1095	1040	0.6	2294	2300	0.2	2691	2808	0.005	17955	18211	<0.0001	21233	21757	<0.0001
(n)	5.1	5.1		6.5	6.6		5.3	5.5		6.5	7.0		5.3	5.6		6.6	7.1	
Mean maternal age at birth	28.3	28.4	0.03	28.4	28.5	0.0265	28.3	28.4	0.0002	28.3	28.4	0.009	28.5	28.6	<0.0001	28.5	28.6	<0.0001
SD	4.3	4.3		4.4	4.3		4.3	4.3		4.3	4.3		5.5	4.4		4.4	6.5	
(n)	17977	16907		16975	15792		43338	41983		41094	39886		338637	323889		320727	307344	
Mean birth order	1.73	1.72	0.4	1.71	1.72	0.2	1.70	0.97	0.97	1.70	1.70	0.4	1.73	1.73	0.0454	1.73	1.73	0.2
SD	0.82	0.83		0.83	0.84		0.83	0.82		0.82	0.83		0.85	0.85		0.85	0.85	
(n)	17977	16907		16975	15792		43338	134515		41094	39887		338666	194012		320744	307368	
The 1st babies (%)	8432	8084	0.09	8150	7459	0.2	21209	20554	0.96	20019	19346	0.5	160029	154422	0.0006	151834	145846	0.4
(n)	46.9	47.8		48.0	47.2		48.9	49.0		48.7	48.5		47.3	47.7		47.3	47.5	
	17977	16907		16975	15792		43338	41983		41094	39887		338666	323921		320744	307368	

* P values were calculated by Chi-square test (categorical variables) and Student's t-test (continuous variables)

表3.東日本大震災当時の妊娠週数別に見た単胎児の出生性比および、1年前の同時期の妊婦における出生性比の比較

Gestational weeks	4-11 w			12-19 w			20-27 w			28-36 w		
	Total	Male	P*	Total	Male	P	Total	Male	P	Total	Male	P
Extremely affected region												
2010 group	6798	3541	0.009	7082	3680	0.7	6948	3499	0.07	7518	3863	0.07
2011 group	6618	3298		6716	3465		6649	3450		7223	3604	
Moderately affected region												
2010 group	66757	34155	0.97	65525	33949	0.9	65018	33251	0.3	68824	35380	0.6
2011 group	65137	33320		64947	33617		63721	32780		67872	34798	
Slightly or unaffected region												
2010 group	94792	48980	0.0011	94700	48466	0.4	92986	48127	0.2	99176	51149	0.5
2011 group	93363	47541		94709	48641		91825	47257		98359	50573	
		50.9			51.4			51.5			51.4	

* P values were calculated by Chi-square test

表4.阪神淡路大震災当時の妊娠週数別に見た単胎児の出生性比および、1年前の同時期の妊婦における出生性比の比較

Gestational weeks	4-11 w			12-19 w			20-27 w			28-36 w		
	Total	Male	P*	Total	Male	P	Total	Male	P	Total	Male	P
Extremely affected region												
1994 group	8743	4499	0.6	8727	4493	0.7	8284	4239	0.08	9198	4746	0.7
	51.458			51.5			51.171			51.598		
1995 group	8012	4152		8159	4174		7665	4030		8863	4551	
	51.822			51.158			52.577			51.348		
Moderately affected region												
1994 group	21255	10856	0.97	21028	10735	0.7	20188	10458	0.3	21961	11289	0.6
	51.075			51.051			51.803			51.405		
1995 group	20503	10543		20559	10531		19291	9899		21517	11010	
	51.422			51.223			51.314			51.169		
Slightly or unaffected region												
1994 group	165574	84873	0.96	163375	83991	0.2	159205	82074	0.7	171256	87728	0.6
	51.26			51.41			51.552			51.226		
1995 group	158893	81462		157482	80619		150130	77295		164784	84545	
	51.268			51.193			51.485			51.307		

* P values were calculated by Chi-square test

表5.東日本大震災当時の妊娠週数別に見た単胎児の調整済み妊娠期間及び調整済み出生体重の、1年前の同時期との比較

Gestational weeks	4-11W				12-19W				20-27W				28-36W				
	Gestational duration Birth weight (g)				Gestational duration Birth weight (g)				Gestational duration Birth weight (g)				Gestational duration Birth weight (g)				
	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	
Extremely affected region																	
2010 group	275.06	3075.19	274.81	3061.61	274.57	3065.34	275.10	3079.37	275.06	3083.06	275.22	3067.29	275.10	3083.06	275.22	3067.29	
2011 group	274.66	0.13	3090.38	0.06	274.52	0.28	3067.07	0.48	275.00	0.10	3086.95	0.008	275.22	0.58	3067.29	0.04	
Moderately affected region																	
2010 group	274.01	3057.32	274.04	3057.17	274.00	3058.20	274.84	3079.37	274.02	3063.73	0.03	274.75	0.21	3079.31	0.98		
2011 group	274.18	0.06	3063.77	0.011	274.06	0.85	3059.58	0.35	274.02	0.89	3063.73	0.03	274.75	0.21	3079.31	0.98	
Slightly or unaffected region																	
2010 group	274.34	3057.77	274.29	3053.75	274.38	3063.30	275.00	3077.33	274.21	3060.26	0.002	274.28	0.14	3064.16	0.69	3084.73	
2011 group	274.26	0.29	3061.38	0.09	274.21	0.27	3060.26	0.002	274.28	0.14	3064.16	0.69	274.98	0.72	3084.73	0.0005	
Female																	
4-11W				4-11W				4-11W				20-27W				28-36W	
Extremely affected region																	
2010 group	275.67	2985.11	275.90	2977.79	275.32	2967.09	276.22	3002.96	275.55	2978.70	0.43	275.41	0.75	2986.35	0.015	276.31	0.68
2011 group	275.55	0.68	2978.70	0.43	275.40	0.07	2987.71	0.22	275.41	0.75	2986.35	0.015	276.31	0.68	2995.88	0.36	
Moderately affected region																	
2010 group	275.25	2973.89	275.22	2972.48	275.19	2975.67	275.72	2988.95	275.18	2975.06	0.65	275.26	0.64	2972.58	0.97	275.62	0.13
2011 group	275.18	0.39	2975.06	0.65	275.39	0.68	2971.13	0.15	275.57	0.04	2980.90	0.02	276.01	0.62	2996.01	0.07	
Slightly or unaffected region																	
2010 group	275.45	2971.83	275.36	2968.05	275.42	2975.67	276.04	2992.07	275.41	2978.01	0.004	275.39	0.68	2971.13	0.15	276.01	0.62
2011 group	275.41	0.59	2978.01	0.004	275.39	0.68	2971.13	0.15	275.57	0.04	2980.90	0.02	276.01	0.62	2996.01	0.07	

* Adjusted for maternal age and parity and calculated by least-squares method

** Adjusted for maternal age, parity and gestational duration and calculated by least-squares method

表6.阪神淡路大震災当時の妊娠週数別に見た単胎児の調整済み妊娠期間及び調整済み出生体重の、1年前の同時期との比較

Gestational weeks	4-11w				12-19w				20-27w				28-36w			
	Gestational duration (days)		Birth weight (g)		Gestational duration (days)		Birth weight (g)		Gestational duration (days)		Birth weight (g)		Gestational duration (days)		Birth weight (g)	
	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P	Adjusted means*	P	Adjusted means**	P
Extremely affected region																
1994 group	275.19		3138.86		275.28		3157.46		275.71		3154.27		275.69		3158.91	
1995 group	276.51	<0.001	3114.16	0.001	276.59	<0.001	3119.66	<0.001	276.47	0.002	3132.41	0.006	276.81	<0.001	3114.43	<0.001
(n)	8651		8649		8667		8667		8268		8268		8268		9295	
Moderately affected region																
1994 group	275.56		3137.41		275.42		3141.49		275.84		3149.06		276.31		3156.15	
1995 group	276.75	<0.001	3102.73	<0.001	276.83	<0.001	3107.44	<0.001	277.00	<0.001	3117.75	<0.001	277.38	<0.001	3123.02	<0.001
(n)	21399		21396		21266		21264		20357		20353		20353		22298	
Slightly or unaffected region																
1994 group	275.42		3136.31		275.54		3149.14		275.68		3152.87		276.07		3159.88	
1995 group	276.55	<0.001	3102.21	<0.001	276.75	<0.001	3116.34	<0.001	276.88	<0.001	3115.46	<0.001	277.10	<0.001	3121.88	<0.001
(n)	166334		166316		166409		164596		159367		159349		172269		172258	
Gestational weeks																
Female																
Extremely affected region																
1994 group	276.64		3066.31		276.27		3071.27		277.14		3084.46		276.92		3080.65	
1995 group	277.64	<0.001	3025.23	<0.001	277.74	<0.001	3039.40	<0.001	278.03	0.0002	3048.65	<0.001	278.09	<0.001	3039.70	<0.001
(n)	8104		8104		8219		8219		7679		7678		8764		8762	
Moderately affected region																
1994 group	276.79		3049.09		276.61		3061.24		276.96		3073.27		277.43		3083.71	
1995 group	278.03	<0.001	3019.19	<0.001	278.10	<0.001	3029.01	<0.001	278.19	<0.001	3031.96	<0.001	278.34	<0.001	3037.89	<0.001
(n)	20358		20355		20320		20318		19122		19120		21179		21171	
Slightly or unaffected region																
1994 group	276.77		3053.33		276.84		3063.85		276.98		3071.54		277.21		3076.02	
1995 group	277.83	<0.001	3020.44	<0.001	277.91	<0.001	3033.29	<0.001	278.06	<0.001	3035.73	<0.001	278.22	<0.001	3044.62	<0.001
(n)	158130		158118		156247		156241		149964		149956		163762		163747	

* Adjusted for maternal age and parity and calculated by least-squares method

** Adjusted for maternal age, parity and gestational duration and calculated by least-squares method